

# 平成27年度第3回千葉市男女共同参画審議会議事録

市民局生活文化スポーツ部男女共同参画課

## 1 日 時

平成27年12月24日（木） 14時00分～15時50分

## 2 開催場所

千葉市総合保健医療センター 2階 健康学習室

## 3 出席者

（委員） 上田委員、片岡委員、神田委員、佐藤委員、杉本委員、高梨委員、種池委員、永治委員、林委員、三石委員、皆川委員、三幣委員

（欠席 赤石委員、高橋委員、徳田委員）

（事務局） 丸島生活文化スポーツ部長、岡本男女共同参画課長、平田男女共同参画課長補佐、男女共同参画課主任主事、大町こども家庭支援課長、三枝こども家庭支援課長補佐、こども家庭支援課主査、同主任保健師、小池男女共同参画センター館長、林男女共同参画センター副館長

## 4 議 題

- （1）ちば男女共同参画基本計画・新ハーモニープラン（後期計画）年次報告について
- （2）男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の原案について
- （3）男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の答申案について

## 5 議事の概要

- （1）ちば男女共同参画基本計画・新ハーモニープラン（後期計画）年次報告について  
平成26年度実施事業等について報告を行った。
- （2）男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の原案について  
男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の原案について、説明を行い、委員からの意見を踏まえて、策定作業を進めることとなった。
- （3）男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の答申案について  
男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の答申案について、事務局案に一部修正を加え、後日会長より答申を行うこととなった。

## 6 会議経過（発言要旨） （○…委員、△…事務局）

- （1）開会

(2) 生活文化スポーツ部長挨拶

(3) 欠席委員の報告

(4) 【議題1】 ちば男女共同参画基本計画・新ハーモニープラン（後期計画）年次報告について

○皆川会長 本日は、議題にあるように大きく3つある。まず、議題1「ちば男女共同参画基本計画・新ハーモニープラン（後期計画）年次報告について」、事務局から説明をお願いしたい。

△岡本男女共同参画課長 <事務局説明>

○皆川会長 それでは、ただいまの事務局からの説明について、意見、質問等お願いしたい。

○種池委員 データを見ると、大抵のものが上昇傾向となっているが、実際に私たちの地域の周りを見ると、ほど遠いような感じがする。

△岡本男女共同参画課長 確かにこのデータを見ると、かなりよい数値で出ているものについても、果たしてそのとおり市内全域で実際行われているのかという面では不安に思うところもある。次期計画については、実際の状況をできるだけ知るよう努め、進めていきたい。

○種池委員 私は、やはり現場から発信をしていくということが大切だと思う。それには行政がまだまだ現場の細かいところまで手が届いていない。このデータを出す時に、現場を重点的に見て、その総合の点数を出して、今の千葉市がどのような状況かということが把握できるとよい。

また、もっと地域にこうしたアンケートやデータを発信し、そうしたデータを総合したものをまた出してもらえれば現実的なものがもう少し出てくるのではないか。

△岡本男女共同参画課長 少し後で出てくるが、市民アンケートの実施を予定している。今回実施するのは、LGBTに関するアンケートだが、男女共同参画など様々な項目について、できるだけ市民の方の意見を聞いて計画推進に生かしていけるようなことを考えていきたい。

○皆川会長 今、種池委員から要望をいただいたように、よりトータルな現場に近い形での状況把握ができるようなアンケートなどについて、次期計画の中で引き続き検討いただきたい。

○高梨委員 こちらの調査は、性別や年齢層などが分析された資料は出ているのか。

△岡本男女共同参画課長 年次報告書については、様々な調査結果を用いており、年齢層などの正確な把握までできている調査もあるが、そのようには出ていないものもある。

○高梨委員 例えば、若い方は随分意識が高く、上がってきているように感じられるが、年齢層により意識の向上までいかない。そのような活用対策としても、もしデータを今までとっていないようであれば、ピンポイントでも改善、向上が考えられるデータ項目など検討してもらえると、今後どのような施策をとったらよいかということにもつながっていくのかなと思われる。

○林委員 データの羅列だけでなく、市として行った事業がどのように反映されたか、そうした形を示していないとだめではないかという気がした。次年度以降の年次報告書については、勘案してもらいたい。

△岡本男女共同参画課長 次年度以降の年次報告書等について、年齢層などの様々なデータが上がってくるので、実施したことがどのように変わってきているか、また、今後どうしていくかということも考えていきたい。

○皆川会長 年齢層による結果のより詳細な分析というのも、特に意識調査などのところで大事かと思うので、可能な限り対応してもらいたい。また、次年度以降の年次報告書の形式についても可能な限り考慮してもらい、次年度以降につなげてほしい。

#### (5) 【議題2】男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の原案について

○皆川会長 議題2「男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の原案について」、こちらの両原案は、9月に開催した第2回審議会以降、2回の書面等によるやりとりを踏まえて作成された。また、2回のやりとりで委員から貴重な意見を頂戴した。意見とそれに対する市の考え方、最終的なこの案への反映などについては、2つ併せて先日、参考資料3として事務局より委員へ送られているかと思う。それを踏まえて、次の両基本計画の原案についての審議を行いたい。

それでは、まず男女共同参画に関する次期基本計画原案について、事務局から説明をお願いしたい。

△岡本男女共同参画課長 <事務局説明>

○皆川会長 それでは、今の事務局からの説明について、ご質問、ご意見等お願いしたい。

○神田委員 先ほど林委員がおっしゃったように、これ自体を具体的にこういうことをやって達成したという一つの土台にしたらどうか。例えば、ワーク・ライフ・バランスがこういった状況でどうやってこうなった、だめだったなど、全体にまたがった達成率ではなくて、具体的にこ

ことここだけはという形になるとよいと思う。

例えば、LGBTなども取組みとしてどういう形での達成ができたかという具体的な毎年の評価が出れば、我々としても、また、市民としても恐らく分かりやすくなるのではないかなと思う。

○皆川会長 今回、大きなところで言うと、基本目標のあり方、重点施策の内容、指標のあたりになると思う。特にLGBTに関連して、基本目標のタイトルと重点施策に新しく入っており、これまでと若干変わっている点もあるので、そのあたりを中心に、それ以外でも構わないが、検討いただきたい。

○種池委員 89ページの指標一覧について、保育所の待機児童数がゼロになっている。本当に全員が希望するところに入所できているのか。

また、防災ライセンス講座修了者数が195人となっている。男性と女性が何人なのか、そのバランスを教えてください。

それから、町内自治会役員に占める女性の割合だが、ほとんど男性がトップに立っているというのが多いようだ。

新規にできた指標の中で、この3つについて説明していただきたい。

△岡本男女共同参画課長 待機児童数ゼロについては、できるだけ希望を聞いた上で調整を図って、最終的に納得された上で入所しており、1カ所だけ希望してここでないと絶対入所させないといったケースは含まれていないと聞いている。

2点目の防災ライセンス講座修了者数だが、詳細については確認の上、改めて連絡させていただきたい。

3点目の町内自治会役員に占める女性の割合についてと言うと。

○種池委員 退職した男性がやってくれていることが非常に多いので、ありがたいのだが、男女の比率がどうしても男性の方が断然に高い。そのため、どうしても男性の目線で自治会運営がなされていってしまうという点でいかなものかと思う。

△岡本男女共同参画課長 担当部署とも連携して、常に役員の選定にあたってはできるだけ女性の方に多く加わっていただくというようなことを繰り返しお願いする、様々な啓発を行うなど、より多くの女性の方に参加してもらうような取組みを進めていきたいと考えている。

○林委員 参考資料3の2ページ、5番の市の考え方だが、上の3行で「各体系に位置付けられる所管課の事業を掲載致しましたので、ご理解いただき・・・」となっている。これは所管課の事業を掲載したというのが、この基本計画全体に流れている思想なのか、それとも、こちらが市長部局で、男女平等教育というのは教育委員会に属する部分だから、向こうに独立性があるから

という意味なのか。

△岡本男女共同参画課長 教育委員会だから除外して考えるといった意味ではない。この計画は相当広範囲の事業を盛り込んでいる関係で、実際に具体的事業の各所管部署との連携にあたっては、男女共同参画の計画に入れることによって、その部署でも男女共同参画の視点を強く意識してもらおうといった関係で盛り込んでいる。

しかし、計画に入っているからといって、各事業の進捗状況をコントロールできるかということかなり厳しい面もあるので、各部署が責任を持って事業を展開することが必要である。このため、各部署と連携を深めるとともに、意識を高めて推進していこうということで実施してまいりたい。

○林委員 了解した。できるだけイニシアチブをとってやっていただきたいという趣旨である。

○三幣委員 88ページの指標一覧の基本目標1、固定的性別役割分担意識を持たない人の割合に関連するのだが、資料1の13ページに千葉市職員の介護休暇取得者数（男女別）の資料などを見ると、やはりそうしたところにも「女性は介護、男性は仕事」といったような意識が見え隠れしているというのが分かった。圧倒的に女性職員が介護休暇を取得しているというような状況なのだが、この介護休暇を取得した方の復帰状況について、分かる範囲でもし資料があったら教えていただきたい。

△岡本男女共同参画課長 確認後回答させていただきたい。

○三幣委員 やはり介護についてはいつまで続くか分からないということで、介護休暇の取得期間が過ぎてしまった場合は、やむを得ず退職を選ばざるを得ないという方もいる。近年は企業でも復職制度が拡充されてきているというような話も聞いているので、制度面から復職制度の導入について検討していただけると、また、男女共同参画課からも声を上げてもらえると、やはり男性も女性も介護休暇を取得するハードルが少しでも低くなるのではないかと。

○皆川会長 今、意見があったように、もし可能であれば復職の状況も視野に入れた調査などを今後してもらえればと思う。また、それを今後の施策に関連付ける形で取り入れてもらおうとよいと思う。介護離職の問題は、指摘にあったように、今後大変重要な問題になってくるかと思うので、よろしく願いしたい。

ほかにないようであれば、DV防止・支援に関する次期基本計画の原案について、事務局から説明をお願いしたい。

△大町こども家庭支援課長 <事務局説明>

○皆川会長 それでは、ただいまの事務局からの説明について、ご質問、ご意見等お願いしたい。

○佐藤委員 たくさんの細かい提案や指摘させていただいたところを組み込んでいただき、ありがとうございます。市としての支援の姿勢というのが今回具体的に入ったものになって、とても出来栄がよいと思う。

これを手にした方たちが、これはどういうことだろうとか、なぜ逃げられないのかとか、デートDVも含めてたくさんのコラムを入れていただいたことで、より身近に引き寄せて考えることもできるようになったので、とてもよかったと思う。

6 ページのコラムについて、根本的なことなのだが、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力、経済的暴力ということで4つ入れてもらい、どういうものがDVなのかということが分かるかなと思う。

私たちが支援の現場で考えている暴力にはもう一つ、社会的暴力という、とても大きく根底にあるものと考えている。それは、人間関係、例えば友人関係とか、実家や親戚などとの付き合いを絶って孤立させる、あるいはその付き合いを無視したり避難することなどで、洗脳しやすくなり力と支配を強化するため、人間の深い傷つきになっていき、人間らしさを損なうことがある。なので、その社会的暴力というのを入れられないか。

今後の更なる注文になるかもしれないのだが、基本的姿勢としても、私たちの理解としても、男女共同参画社会を作っていくベースとするために、「自分の方が上、自分の言うことを聞け」という親密な間柄での姿勢を、ニュートラルにしていく視点が盛り込まれたら、更によいかと考えている。その視点があると、暴力はやはり公衆衛生の問題だから予防が大事だし、今、若者や子どもたちの間でのDV、デートDVという言葉が少しは浸透してきたが、その視点も入るかと思う。

あと、もちろん高齢者のDVも高齢者虐待とは別に起きているということも入るのかなと思っている。

また何か意見がまとまり、間に合うようだったらメール等で意見を出させてもらえたらと思っているので、追加しておきたいと思う。

○神田委員 先日、延べ2日間に渡り、100人を集めて市民自治推進課による大ワークショップというのに依頼があり出席したが、相当な意見が出た。「高齢者」、「子ども」、「防犯・防災」、「ごみ」の4つの項目についてワークショップを行ったが、男女共同参画課、こども家庭支援課でもかなり参考になる意見があると思う。

○片岡委員 私も社会的暴力をどこかで盛り込んでほしいと思っている。

また、今回のDV法の改正でデートDVも条件付きで盛り込まれたので、若者のゆがんだ恋愛観による、携帯電話を使った支配とコントロールや、メールを使って束縛するといったようなものもどこかに入れてほしいと思う。

それから、第1回審議会の際にデートDV予防プログラムを中学校の先生方が実施されると伺って、その後どのように展開されているのか伺いたい。

△小池男女共同参画センター館長 現在、中学校に照会しているところだが、既に2校ほど実施したという報告は受けており、この後何校かやっていただけると聞いている。できるだけ多くの学校に実施してもらえるよう、これからも継続的に教育委員会指導課と連携しながら進めていきたいと考えている。

○片岡委員 DVやデートDVのプログラムを実施するにはやはり専門性が必要だと思うのだが、中学校の先生方が若さとやる気だけでそれを実施されるということに関して、すごく怖さを感じる。2校実施されたということで、それはどのような形で実施されたのか、また、反応なども伺いたい。

△小池男女共同参画センター館長 ご指摘のとおり、発達段階に応じたデートDVの内容が必要になると思う。中学生では名称的には「デートDV予防」という形をとっているが、ずばりとしたデートDVというより人間関係づくりというところから進めている。

プログラムは、指導課にご指導いただきながら指導案を作成しており、学校の先生が適切に実施できると確信を得た中で活用してもらっている。これからもより使いやすいもの、子どもたちに内容が分かりやすいものになっていくよう実施状況等を検証していきたい。

○片岡委員 私もDV、デートDVのファシリテーターとして、学校などで実施させてもらっているが、基本的なこととして、「尊重し合える関係」の根本となるところはコミュニケーション不足が原因でデートDVが起きているのではないということを強調して生徒さんたちに理解してもらっている。間違った考えや価値観が根っ子にあって、それが原因で力と支配の関係になっていくのだということを重要視しているのだが、そこがちょっと違うなと感じた。

△小池男女共同参画センター館長 説明が不十分だったかと思うが、暴力による支配、コントロールがまさにDVだということは、このプログラムの中にも伝わるように記載はしてある。また、担任と養護教諭の2人1組で行うプログラムになっている。

○皆川会長 片岡委員からご指摘があったように、確かに専門性がかかわる問題だと思う。今後さらに教育委員会との連携も含めて進展させていただきたい。

○佐藤委員 行政が、教育と力を併せて取り組んでいることはとても評価できる点だと思うし、千葉市の特徴だと思う。なぜならば、子どもたちが虐待も含め、DV、暴力のことを相談するのは、学校の先生が1番多いからである。子どもたちの身近にいる担任や養護教諭、教育委員会の

方々に勉強していただき、こうしたデートDVのプログラムをやっていくための力量を上げてもらえることは、そこに教師としての専門性もあつたりするので、それは一つのよい傾向かと思う。ぜひどんな形でこうやれているという効果や結果などを教えていただけるとよい。

また、それとは別に、第三者がゲストとして来て、インパクト強く予防教育として情報提供してもらふことや、体験型をしてもらうことの両方を併せてやっていただけたら今後は更によいかと思います。

○皆川会長 ご意見ありがとうございます。ぜひ参考にさせていただきたい。

事務局から、今回の基本計画案の策定については、案を示してもらった上で委員からの意見を出してもらい、先ほど事務局からの説明にもあつたように、かなりの点で適切なお意見とそれを踏まえた修正をいただけてきたと思うので、今日出してもらった意見も含めて、最終的な案をこの方向で策定させていただきたい。

#### (6) 【議題3】男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の答申案について

○皆川会長 それでは次に、最後の議題に進めさせていただきたい。

議題3「男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画の答申案について」は、本審議会から答申を提出するということになるので、その案の確認と確定をさせていただきたい。

資料3は、今までの議論を踏まえて、これから市に対してどういう答申を行うかということで、進行の都合上、既にこれまでの経緯を踏まえて答申案をまとめたものを送って、確認してもらっている。内容については、これまでの質問、意見で特に全体にかかわるところではなかったが、この審議会の中でも追加の意見や指摘などあればいただきたい。

○神田委員 男女共同参画に関する次期基本計画、非常によいと思った。特にワーク・ライフ・バランスやLGBTなど、さらに深い知識の蓄積が必要だと思う。男女共同参画センターでよくこういった講座をやっているの、私も時間が許す限りその講座には出るようにしている。ぜひそういったものをどんどん多く講座としてハーモニープラザで開いてもらえればという希望もある。

○皆川会長 これまで審議してきた内容の基本的なところで、男女共同参画社会の実現に向けての理解の促進というところがまず一つ、要になるところなので、具体的な施策の中で今後進めていただければと思う。

この答申案については、5つの基本目標とその具体的な重点施策の基本的なコンセプトを申し述べるという形になっている。このため、細部の点については、いろいろ意見をもらった内容を踏まえながらこの答申に沿って計画を具体化していく中で取り組んでもらえればと思う。

また、計画の答申そのものにはかかわらないが、この審議会の中でいろいろご意見いただいた



ように、これまでの取組みを踏まえて、その効果がどうであったかということ、それを踏まえて具体的な施策を考案するという、これまでの検証と合理的な効果のこれからの施策を考えるというところのリンクが一つ課題かと思う。

今回、次期基本計画を策定するにあたっての答申案としては、原案として示した内容の形で答申させていただくということによろしいか。

○三石委員 答申案だが、DV防止・被害者支援基本計画（第2次）についての2番のところに、先ほどのDV防止・支援に関する次期基本計画原案のところにある11ページの3行目から「・・・社会全体に影響を及ぼす大きな問題です」まで、このあたりの文章を使ってもらえるにより訴えが強くなるのではないか。

○皆川会長 承知した。それでは、DV防止・支援に関する次期基本計画原案の第2章の11ページのところ、「暴力のある環境で育つ子どもは」のところから「世代間の負の連鎖を生むことさえあり、当事者間の問題に留まらず社会全体に影響を及ぼす大きな問題です」というところを、答申案のDV防止・被害者支援基本計画（第2次）の2番のところに入れ込む形で検討させていただきたい。

○佐藤委員 今のご意見に関連してだが、そこの部分を入れることに対しては大変具体的になるかと思うのだが、2番というよりは5番の「ケアの充実に努める」の方により多くの比重がかかる内容かと思う。

○皆川会長 承知した。2番のところが一般的な推進のところなので、まずここにも三石委員からの意見にあったように入れさせていただき、それで5番のところのケアの充実のところでも関連させる形で検討させていただきたい。

それでは、そういった形で加筆修正をさせていただき、委員の皆様にご改めまして答申案をお送りし、男女共同参画及びDV防止・支援に関する次期基本計画について答申させていただくという形によろしいか。

（異議なし）

それでは、答申書の提出については、後日、私の方で押印して市長宛てに答申させていただきたい。これまでの委員の皆様の貴重な意見と審議、深く感謝申し上げます。

皆様の協力により本日の議事は全て終了した。

△平田男女共同参画課長補佐 次回の審議会は3月下旬を予定している。改めて事務局から案内する。以上をもって、平成27年度第3回千葉市男女共同参画審議会を閉会する。